

「WE LOVE とよた」条例

前文

私たちのまちには、多様な魅力にあふれたまちです。

それは、豊かな自然とその恵み、栄えある歴史と受け継がれてきた伝統、多彩な文化、世界に誇るものづくりの技術や技能、盛んな芸術やスポーツ、市民の活発な活動、多くの人々を受け入れ認め合う風土、都市部と山村部の共存と交流などです。

私たちは、その魅力に改めて気づき、共に絆と信頼を深めながら、愛情と誇りを持って行動し、魅力にあふれたまちを次の世代に引き継いでいきたいと願っています。そして、人や地域が優しさでつながり、多様な楽しみを尊重し分かち合うことで、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指していきます。

私たちは、こうしたことを「WE LOVE とよた」の取組とし、持続可能なまちを実現するために、このまちに関わる全ての人々と共に推進していくことを決意し、この条例を制定します。

基本理念

第1条

私たちは、次に掲げる事項を「WE LOVE とよた」の取組の基本とし、自らの意思で行動していきます。

- (1) 互いを尊重しながら、とよたの魅力を自由に楽しみます。
- (2) とよたの魅力を周りの人々に伝え、共に楽しみます。
- (3) 互いに協力しながら、とよたをもっと楽しくします。

行動計画

第2条

私たちは、「WE LOVE とよた」の取組を推進していくために、次に掲げる事項について行動計画を作ります。

- (1) とよたの魅力を知り、これを暮らしに取り入れ、発信し、高めていくこと。
- (2) 「WE LOVE とよた」の取組への理解と共感の輪を広げていくこと。

附則

施行期日

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行します。

条例の見直し

- 2 私たちは、第8次豊田市総合計画の実践計画の期間を経過した場合において、この条例の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて、必要な見直しを行うものとします。

「WE LOVE とよた」条例に基づく行動計画

1 「WE LOVE とよた」条例とは

「WE LOVE とよた」の取組を全市的に推進していくために、市民のこのまちへの愛情と誇りを高めて自発的な行動につなげるとともに、幅広い市民の参画を促すために、その基本を定めるものです。

2 「WE LOVE とよた」の取組とは

市民がとよたの魅力に改めて気づき、共に絆と信頼を深めながら、愛情と誇りを持って行動し、魅力にあふれたこのまちを次の世代に引き継ぐとともに、人や地域が優しさでつながり、多様な楽しみを尊重し分かち合うことにより、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指すことをいいます。

3 「WE LOVE とよた」の取組を具体的に推進する行動計画

行動計画は、「WE LOVE とよた」の取組を具体的に推進していくための事業や行動を示すものです。これらにより、未来に向けて持続可能なまちの実現を目指していきます。

行動計画の概要

5つの視点と 目指す姿



目指す姿

わくわくする世界一楽しいふるさと

わくわくする世界ー楽しいふるさと を目指して



魅力を知る 知る・体験する取組



市民参加「豊田市生き物探し」

豊田市で見ることができる生き物をまとめた専用の調査ブックを使って、市民や団体が身近な自然の生き物を調査。

WE LOVE POINT!

市内の身近な生き物や自然とふれあう機会となる。地域の自然を愛するボランティアが講師となって調査のお手伝いをする。



環境政策課

ラムサール湿地観察会

ラムサール条約に登録された貴重な湿地で東部丘陵地域特有の希少な植物の観察会を定期的実施。

WE LOVE POINT!

ラムサール条約に登録された貴重な湿地で東部丘陵特有の希少な植物を観察することができる。



環境政策課

身近な水辺の環境意識向上プロジェクト

地域を流れる川を、参加者の感覚(見た目、におい、感触など)によって調査する。

WE LOVE POINT!

地域の川を、市民の感覚で調査することで、身近な水辺への環境意識を向上できる。



環境保全課

森の応援団の養成と共働の森づくりの推進

市民の森づくりに対する理解推進のため、ターゲットの中心となる森林と関わり薄い市民等に合わせた内容の講座を開催する。

WE LOVE POINT!

豊田市の森やその働きを知ることによって愛着を持つ。



森林課

子どもまちづくり提案活動の推進

地元への愛着を持つ子どもたちを増やし、将来の小原を支える人材を育てるため、子どもたちが提案したまちづくり活動を支援する。

WE LOVE POINT!

子どものころから、地域活動に関わり、地元への愛着を持つことで、将来的には地域を支えていく人材になる。



小原支所

豊田市高等学校魅力発見フェスタ

豊田市内の児童生徒が、市内の高等学校・特別支援学校の魅力を知り、進路選択に生かせるよう、各校の生徒がそれぞれの学校の特徴や活動等を発信するフェスタを開催する。

WE LOVE POINT!

豊田市内の高校の特色ある取組、魅力を発信し、中学生や保護者とその魅力に気づき、市内の高校で学びたいという気持ち・意欲を醸成する。



学校教育課

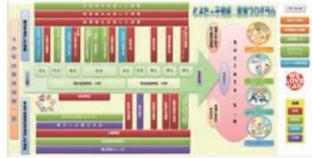
学校教育課

とよたっ子育成の推進

豊田市の豊かな自然、文化財、文化施設などの教育資源を活用し、体験的に学ぶことができる授業例や資料等の教育プログラム集を作成する。

WE LOVE POINT!

豊田市の子どもたちが、豊田市の豊かな教育資源から体験的に学び、考え、活動する。豊田市の小・中学校で9年間を通して学んだとよたっ子は、ふるさとの魅力に気づき、誇りと愛情をもって、未来を力強く生き抜く。



農政企画課

とよたの果物PR

豊田産の果物の魅力を知ってもらうため、豊田プレミアムスイーツクラブ等と連携した取組を実施。

WE LOVE POINT!

とよたの果物の魅力を市内外に発信し、産地としての「豊田」を知るきっかけとする。



商業観光課

とよた産業フェスタ

豊田市内の産業、伝統、技術等を一同に集めたイベント。

WE LOVE POINT!

豊田経済圏の産業、消費諸活動、公共事業、最先端技術を紹介し、「とよた」への市民の関心を高め、地域の活性化を図る。



ものづくりサポートセンター

クルマづくり究めるプロジェクト

子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施。

WE LOVE POINT!

基礎からクルマの構造について学び、追究し、夢をカタチにしよう!



ものづくりサポートセンター

ものづくり教育プログラム

小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施。

WE LOVE POINT!

ものづくりサポーターが学校に出向き、身近な材料で簡単な工作や工具を使ったものづくりをていねいに教えます!



商業観光課

とよた元気プロジェクト

「WE LOVE とよた」をキャッチフレーズに、豊田市の魅力を市内外に伝えるとともに、市内の経済団体と行政による地域内消費喚起を始めた地域を元気にする取組を推進する。

WE LOVE POINT!

豊田市の魅力を市内外に伝え、地域内消費喚起を促す。



保健給食課

市内産食材を取り入れた学校給食の提供

小中学校で栄養教諭が行う食の指導等の事業との連動性を高め、食育と地元食材の紹介を通して、児童生徒が知る取組を充実させる。

WE LOVE POINT!

市内産食材を学校給食に使用し、食に関する指導でその意義を伝えることで、豊田市の農畜水産物の豊かさを児童生徒に知ってもらう。



未来都市推進課

次世代モビリティの普及促進

次世代自動車や自動運転など先進移動技術の普及促進を行う。

WE LOVE POINT!

交通における先進技術を楽しく体験し「クルマのまち」である豊田市らしさを感じる。



ものづくりサポートセンター

とよたものづくりフェスタ

子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催。

WE LOVE POINT!

来て・見て・体験・ものづくり!
ものづくりのまち・とよたを満喫しよう!



ものづくりサポートセンター

科学技術教育の推進

主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルなものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援。

WE LOVE POINT!

目指せ、未来の豊田市を担うエンジニア。仲間と高め合い、高度な科学技術を身に付けよう。



ものづくりサポートセンター

ものづくり 匠の技・職人の技に学ぶものづくりプロジェクト

和紙、鍛冶屋、竹細工といった伝統的な匠のものづくりや食品サンプルなどの現代の名工から学ぶ講座を実施。



WE LOVE POINT!
地道な作業による匠の技や職人の技を体感し、ものづくりの心と技を学びます。

稲武支所

歴史文化 稲武養蚕・製糸文化の伝承

養蚕・製糸文化の普及・振興、後継者の育成、新たな担い手・人材の発掘、新たな産業振興に向けての経済活性化の検討。



WE LOVE POINT!
歴史ある「赤引糸」の養蚕・製糸文化の周知を図り、末永く後世に伝える。

文化財課

歴史文化 郷土学習の推進

学校等と豊田市郷土資料館をはじめとする文化財施設が連携・協力し、子どもたちが、郷土の歴史や文化財の魅力を共有、共感するとともに、学びを深めていくための取組(博学連携事業)を推進する。



WE LOVE POINT!
市民が自ら学び、伝える活動を推進する。

文化財課

歴史文化 歴史的な町並みを生かしたまちづくり

重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存、地区の中核となる旧鈴木家住宅の保存整備や特別公開等による魅力発信を通じて、歴史的町並みを生かしたまちづくりを推進する。



WE LOVE POINT!
重要伝統的建造物群保存地区である足助の町並みや重要文化財「旧鈴木家住宅」の価値や魅力を知ることができる。

文化財課

歴史文化 みんなでつろう!とよたの新しい博物館

歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である(仮称)豊田市博物館を市民とともに作りつづけるため、開館に向けた「記憶あつめるプロジェクト」「資料あつめるプロジェクト」などの事業活動や、市民ワークショップ、講座等の取組を推進する。



WE LOVE POINT!
市民と共につくる博物館づくりを通じて、とよたの歴史・文化・自然などの魅力を共有・共感し、次の世代につないでいく。

市史編さん室

歴史文化 市史講座の開催

『新修豊田市史』の内容から市域の歴史や文化等についての講演、ツアーを開催する。



WE LOVE POINT!
『新修豊田市史』の内容から市域の歴史や文化を知ること、新たな魅力に気付くことができる。

民芸館

歴史文化 民芸館・民芸の森と勘八峡の魅力発見

愛知県内唯一の民芸館として、講座、展示・普及事業などを通じて、勘八峡の豊かな四季とともに県内外にその魅力を発信する。



WE LOVE POINT!
「愛知県新十名所」である勘八峡、平戸橋の魅力を再発見。

稲武支所

芸術スポーツ COME ON! INABU シロキヤラリー

ラリーを観戦する、競技用車両の技術や楽しさに触れる、地域の資源(食べ物、景観、歴史など)を体験する等のコンテンツを一同に集めたイベント。



WE LOVE POINT!
「クルマを作るまち」としてだけでなく、「クルマを楽しめるまち」、「モータースポーツが盛んなまち」としての認知度を向上させるとともに、その魅力を発信する。

文化振興課

芸術スポーツ おいでんアート体験フェア

本市の幅広い文化芸術活動を発信し、鑑賞や体験をしてもらうことで文化芸術のすそ野拡大を図る。



WE LOVE POINT!
文化芸術を通じ、誰もが気軽に本市の魅力に触れ、体験することで、次代の文化の担い手をつくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作りにつなげる。



WE LOVE とよた

魅力を暮らしに取り入れる

とよた産のものを買う・使う・利用する取組

環境政策課

環境 とよたSDGsポイント

SDGsにつながる行動を実践してポイント貯める。貯めたポイントはSDGsにつながる行動を実践する地元店舗等で使える。

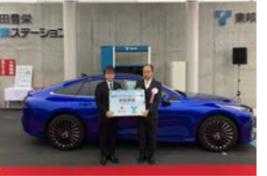


WE LOVE POINT!
ポイント利用を通じて、市民や事業者が「意識してSDGsにつながる行動を実践する」きっかけをつくる。

未来都市推進課

環境 エネルギーの地産地消

環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築。



WE LOVE POINT!
地元にある再生可能エネルギー資源に支えられていることに気付けば地元がもっと好きになる。

森林課

自然景観 地域材利用の促進

一般社団法人ウッドイラー豊田等とともに、森林と都市部をつなげる取組を進めるため、木製品の開発、ツアー、勉強会等を通じて魅力をPRし、地域材利用を推進する。



WE LOVE POINT!
豊田市の木材を使うことで愛着を持つ。

矢作川研究所

自然景観 ふるさとの川づくり

子育て世代をターゲットに地域住民による身近な小川の自然再生活動を通して、共働で守り続ける自然豊かな川づくり。



WE LOVE POINT!
身近な小川を、自分たちの手で創る、育む、遊ぶ。

公園緑地つかう課

自然景観 花のあるまちづくりの推進

とよたガーデニングフェスタの開催や、地域の花飾り、ボランティアの拡充により、花のあるまちづくりを推進する。



WE LOVE POINT!
緑花イベントや地域の花壇を通じて、花への関心や理解をもった市民と共働して花で飾られた華やかなまちをつくる。

農政企画課

農産物 地産地食の理解・環境づくり推進

豊田市及び豊田市農産物ブランド化推進協議会により、地産地食推進活動を行うとともに、「とよたの農」に関する情報を発信。



WE LOVE POINT!
市民がとよたの農産物を自身の生活に取り入れていくことで、地域で「食と農」を支える意識を醸成する。

農政企画課・農業振興課

農産物 農とのふれあい推進

市民農園等の運営・開設支援及び農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修を実施することで、市民の農業への理解につなげる。



WE LOVE POINT!
市民農園等を利用することや栽培技術研修を受講することで、農の楽しさを知ってもらうきっかけとする。

経営戦略課・市民税課

すべて つけて走って広げよう!ご当地ナンバープレート

ご当地ナンバープレートを多くの方々に取り付けてもらうための啓発を実施する。



WE LOVE POINT!
市を象徴するデザインとなっているご当地ナンバーの普及により、市内外に向けて魅力を発信。

都市と山村 **山村地域等への移住・定住の促進** 定住促進課

山村地域等の移住・定住者を増やし、健全な地域コミュニティ保持と地域づくりのため、山村地域等の移住・定住者への支援を実施。



WE LOVE POINT!
山村地域等の健全な地域づくりに寄与するとともに、移住・定住者が地域の魅力を発見することに寄与する。

都市と山村 **いなか暮らしのコーディネート** 企画課

おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進。



WE LOVE POINT!
山村地域への移住希望者に対して、総合的な支援をすることで移住者増に寄与。

都市と山村 **交流のコーディネート** 企画課

おいでん・さんそんセンターを中心に、都市部と山村部の交流をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信。



WE LOVE POINT!
都市と山村の交流をコーディネートし、山村の魅力や価値を発信。



観光 **まちなかや観光の総合案内「n6(エヌロク)」** 商業観光課

情報発信拠点n6(エヌロク)からまちなかや観光の情報を発信。



WE LOVE POINT!
豊田市の魅力を来訪者に伝える。

観光 **アニメ「シキザクラ」聖地観光の推進** 小原支所

アニメ「シキザクラ」の重要な舞台となる小原地区などを聖地化し、これまでの観光客層とは異なるサブカルチャーのファン層との連携や交流を図る。



WE LOVE POINT!
小原地区やとよたにある良い所を新しい視点でつなぎ直して、楽しみ方や楽しむ人の層を広げる。

雇用 **はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰** 産業労働課

働き方改革に対する事業所の取組機運を醸成するとともに、優良事業所の求職者等へのPRを図るため、改革に取り組む市内優良事業所を表彰する。



WE LOVE POINT!
働きやすく働きがいのある職場を、市内外に発信することで、「働く場」としての豊田の魅力を伝える。

雇用 **若者に向けた市内企業の魅力発信** 産業労働課

とよたの先輩名鑑発行、PR動画作成配信、出張授業やオープンファクトリーの実施。



WE LOVE POINT!
市内事業所で働く人が、就職を考える若年層等に向けて、その魅力を発信する機会を提供することで、「働く場」としての豊田の魅力を伝える。

WE LOVE とよた

魅力を発信する 市内外に伝える取組



自然・景観 **積み木キャラバン** 環境政策課

地域材を中心に使った大量の積み木を持って、キャラバン隊が市内こども園を訪問し、木の魅力や楽しさを伝える。



WE LOVE POINT!
子どもたちに木の魅力や楽しさを伝える。キャラバンの隊員は、環境学習施設エコットの育成講座を修了した市民ボランティア。

自然・景観 **緑と花につつまれたまちづくり** 公園緑地つかう課

市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出。



WE LOVE POINT!
緑豊かな都市環境をみんなで作る。

環境 **企業の環境配慮行動(環境にやさしい取組)の発信** 環境保全課

市内の環境保全協定締結企業の環境に配慮した取組やノウハウを、市民や他の市内企業へ発信する。



WE LOVE POINT!
豊田市の工場で取り組んでいる環境に配慮した取組(豊田市の環境を守る取組)を、市内外へ発信する。

環境 **豊田市の水道水の安全安心PR** 上水運用センター

豊田市の水道水や水道施設等を動画配信などで紹介することで、水道水の安全性をPRする。



WE LOVE POINT!
「豊田市の水道水は安全安心」という理解を広めるとともに、水道水に対してより親しみをもち利用してもらう。

市民・地域 **とよたがおふたりのご結婚をお祝します!** 市民課

豊田市オリジナル婚姻届・記載例掲載冊子の配布、更に豊田市で婚姻届を提出した記念としてフォトフレーム(豊田市産木材・小原和紙を使用。障がい者福祉施設で作製)をプレゼントする。



WE LOVE POINT!
豊田市オリジナル婚姻届と手作りした素敵なフォトフレームでおふたりを祝福!魅力あふれるまち、そうだ!とよたに住もう!

すべて **SDGs未来都市プロモーション** 未来都市推進課

SDGsの情報発信拠点であるとよたエコフルタウンを活用して本市の取組や先進技術を発信。



WE LOVE POINT!
私たちの暮らす「まち」を持続させるため、みんなで考え、行動へとつなげよう。

観光 **市内観光プロモーションの推進** 商業観光課

市民が気軽にレジャーを楽しむことができるよう市内観光スポット及びイベントの情報を提供する。



WE LOVE POINT!
市民が本市の観光の魅力を知り、自ら市外にも発信することで更なる観光来訪につなげる。

観光 **とよたの特産品展** 商業観光課

豊田市内の特産品を市外に発信するイベント。



WE LOVE POINT!
市内で生産、製造されている地域特産品を市外へ宣伝することにより、豊田市の活性化を図る。

すべて **とよたを応援!「WE LOVE とよた」のサポーター** 経営戦略課

市にゆかりがあり、各分野で活躍している方を「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」又は「WE LOVE とよたサポーターズ」に任命し、それぞれの活動を通して市の魅力を発信する。



WE LOVE POINT!
サポーターによる発信力で、市内外の人にもとよたの魅力を知ってもらおう。

すべて **みんなで使おう!「WE LOVE とよた」ロゴマーク** 経営戦略課

「WE LOVE とよた」への親しみを深めるため、缶バッジやシールなどの無料グッズ配布等を通じてロゴマークの利用を促進する。



WE LOVE POINT!
ロゴマークの普及・推進を図り、身近に「WE LOVE とよた」を感じてもらおう。

すべて 「WE LOVE とよた」情報をお届け!「WE LOVE とよたステーション」

「とよば」で「WE LOVE とよた」に関する情報発信や無料グッズの配布等を行う。



WE LOVE POINT!

「WE LOVE とよた」の発信の中心となる場所で、新たな魅力の発見や交流が促進。

すべて とよたNOW「WE LOVE とよた〜とよたのココが好き!」

ひまわりネットワークの市政番組「とよたNOW」で、市民に自分の好きなものをボードに書いて宣言してもらう。



WE LOVE POINT!

あなたの「WE LOVE とよた」を教えてください。

すべて インスタグラムを使ってとよたの魅力をみんなで発信

Instagramに「#豊田市の魅力発見」又は「#toyotacity_photo」をつけて投稿された写真から「本日の1枚」を市公式Instagramで紹介する。



WE LOVE POINT!

あなただけが知っているよとよたの魅力を伝えよう。

都市と山村 空き家・空き地情報バンク

空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進。



WE LOVE POINT!

山村地域にある空き家・空き地を紹介し、特色ある山村地域での暮らしを伝える。



魅力を高める

新たに生み出す、掛け合わせる、担い手を育てる取組



すべて 姉妹都市交流における市の魅力発信

姉妹都市交流(学生派遣、姉妹都市で開催されるイベント等)に参加した市民、学生、姉妹都市関係者等に、現地で市の魅力を発信してもらう。また、交換学生や要人が来豊する際は、市の魅力を体験してもらい、自国で発信してもらう。



WE LOVE POINT!

姉妹都市交流を通して市の魅力を発信していく。

すべて 豊田国際紙フォーラム

「紙を通してものづくりのミライを創造する」というテーマのもと、国際的なペーパーアートの展覧会やシンポジウム、交流会などを開催する。



WE LOVE POINT!

小原和紙工芸などの豊田市のものづくりの良さを発信し、これからのものづくりを考える契機とする。

観光 「冒険!体験!発見!しもやま」推進プロジェクト

「冒険!体験!発見!しもやま」を下山地区観光の統一コンセプトとし、地区内に点在する釣りやキャンプなどの個別のアクティビティを磨き上げるとともに、三河高原アドベンチャー等でパッケージ化することにより、アクティビティ間のつながりや新たなコンテンツを創出し、下山地区観光全体の魅力を高める。



WE LOVE POINT!

点在する魅力をひとまとめに発信!訪れるみなさまへ、わくわくする世界「冒険!体験!発見!」できる下山を提供いたします。

自然景観 魅力的な河畔環境づくりの推進

河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体による、持続的かつ自発的な活動を推進する。



WE LOVE POINT!

地域住民が参加し、身近な河畔環境の魅力を高めて次世代につなぐ。

ものづくり 豊田ものづくりブランド

豊田市内の中小企業・小規模事業者の持つ優れた技術・製品にスポットを当て、一定の基準を満たすものを「豊田ものづくりブランド」として認定し、中小企業の販路拡大などの支援を実施していく。



WE LOVE POINT!

豊田市内の中小企業・小規模事業者の持つ優れた技術・製品を、市内外に発信することで、ものづくりのまち豊田市の高い技術力を伝える。

歴史文化 映画等を活かしたまちづくりの推進

市を舞台とした映画等の制作支援や、映画等に関連した展示・販売等を通じて市の魅力を発信する。



WE LOVE POINT!

豊田市を舞台に豪華キャストによる感動の映画等を制作。スクリーンからとよたの魅力を再発見!

自然景観 市民が公園を守る取組

地域住民で組織する団体による公園管理と、市民ボランティアによる鞍ヶ池公園里山エリアを整備する。



WE LOVE POINT!

公園を地域住民で、見守る、関わる、そして楽しむ。子どもから高齢者まで、誰もがいきいきできる地域の宝物をつくろう。

自然景観 香嵐渓100年プロジェクト

植樹から100年を迎えようとするモミジの再整備や香嵐渓の景観を維持向上させるための仕組みづくり。



WE LOVE POINT!

香嵐渓の美しい景観を次の世代につなぐための取組。

芸術スポーツ トップアスリートやスポーツチームの応援

本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援し、市民のスポーツへの関心を増大させ、市への愛着や誇りを高める。



WE LOVE POINT!

本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援する機運醸成を行うことで市民のまちの愛着を高めるとともに、トップスポーツチームやアスリートの活躍を通じて、WE LOVE とよたの発信を行う。

都市と山村 豊田市の魅力や住みやすさの発信

定住促進プロモーション「ファースト暮らしとよた」を通じて、市内外の家族形成期世代へ豊田市の魅力や住みやすさのPRを実施する。



WE LOVE POINT!

メディアやWebサイト、PR冊子等を活用し、広くわかりやすく発信する。

自然景観 四季桜とモミジの育成体制の整備

安心安全な観光施設の管理と、安定的な開花・紅葉を促進させるための調査研究を行い、さくら山全体を捉えた樹体更新と持続可能な管理を推進する。



WE LOVE POINT!

小原の貴重な財産である四季桜や里山林を守る活動を地域住民主体で行うことで、地域への誇りと愛着を未来にわたり受け継ぐ。

市民地域 公共的空間の活用の推進

中心市街地の広場(公共的空間)を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出。



WE LOVE POINT!

市内の広場を活用しながら豊田市の魅力的な人々を発掘し、いつ来ても楽しいまちなかをつくる。

都市整備課

市民地域 **豊田市停車場線公共空間活用の推進**

豊田市駅前の県道豊田市停車場線で歩行者空間として活用される際に、交通への影響等を検証し、回遊性の向上やにぎわいの創出につなげていく。



WE LOVE POINT!
市民自ら、既存の公共空間を最大限活用し、回遊性の向上やにぎわい空間の創出につなげ、市民のシビックプライドを形成していく。

足助支所

市民地域 **足助地域核エリア再生の推進**

地域資源や地域特色を生かした事業創出を通じて、地域の担い手の創出と地域が自立的に存続するための仕組みを構築。



WE LOVE POINT!
空き家や空き店舗等を活用した事業の創出と担い手の発掘を行い、地域の魅力を高める。

市民活躍支援課

市民地域 **交流館ふれあいまつり**

各交流館を拠点に、地元の魅力が詰まったお祭りを地元の実行委員会が企画・運営。



WE LOVE POINT!
地域住民同士の交流を促進する機会の拡大を図り、多様な市民活動の発展を支援する。

とよた市民活動センター

市民地域 **とよたシニアアカデミー**

高齢者のニーズに合わせて、①1年を通じて様々な学びや体験をする「通年コース」、②具体的な担いづくりをする「専門コース」、③単発的に様々な学びや体験を行う「はじめての一步講座」の3コースを実施する。



WE LOVE POINT!
高齢者が様々な学び・体験や、新たな出会いを通じて地域活動や市民活動につながるきっかけづくりを実施する。

文化振興課

芸術スポーツ **市民によるアートプロジェクトの推進**

市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。



WE LOVE POINT!
様々な文化芸術活動が活発に行われ、多くの市民が文化芸術に親しむことで、まちの魅力が高まっていく。

生涯スポーツ推進課

芸術スポーツ **企業・大学と連携したスポーツ体制の構築**

企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。



WE LOVE POINT!
本市を拠点とする企業・大学の優れたスポーツ指導者やスポーツ環境を、当該企業や大学だけでなく、市民に対しても提供することで、市民がより高いレベルでのスポーツ実施が可能となる。

とよた市民活動センター

市民地域 **市民活躍応援事業**

とよた市民活動センターにて、①場所、②情報、③PR、④相談、⑤研修、⑥助成、⑦交流等の機会を提供し、市民活動団体を応援する。



WE LOVE POINT!
様々な分野で社会貢献活動を行う団体に、運営・事業の支援メニューを用意し、市民活動団体を応援する。

とよた市民活動センター

市民地域 **プロボノプロジェクト**

スキル(知識・技術と経験)を持った社会人によるボランティア(プロボノ)参加の場を創出し、市民活動のすそ野の拡大を進める。



WE LOVE POINT!
課題解決型のボランティア活動と、課題を抱えた市民活動団体との「共働」で市民活動の活性化を図る。

スポーツ戦略課

芸術スポーツ **リーグ開催に合わせたまちの盛り上げ**

豊田スタジアムでのホーム公式戦の開催に合わせ、来場者を巻き込んだ様々な取組に対する支援等を行い、まちなか全体での盛り上げを行う。



WE LOVE POINT!
名古屋グランパスの応援や公式戦開催時のまちの盛り上げを通じて、まちのイメージ向上や活力ある日常生活につながる。



とよた男女共同参画センター

市民地域 **とよたつながる博**

誰もが気軽に市民活動を知り、参加体験ができる取組として「とよたつながる博」を実施。



WE LOVE POINT!
誰もが気軽に市民活動を体験することで、市民や市民活動団体の生きがいづくりにつながる。

農政企画課

農産物 **農工商連携・6次産業化推進**

農工商連携や6次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施するほか、連携イベント等を開催する。



WE LOVE POINT!
農業の高付加価値化や販路の開拓により、新たな魅力の創出や発信につながる。

WE LOVE とよた

WE LOVE とよたの理解と共感の輪を広げる

つながる・広がる取組

経営戦略課

市民地域 **みんなでつくる「WE LOVE とよたフェスタ」**

世界一わくわくする楽しいふるさとを目指して、とよたをもっと面白くしようと活動している市民団体等と共働で「WE LOVE とよたフェスタ」を開催する。



WE LOVE POINT!
「WE LOVE とよた」を象徴するイベントとして、人と人とのつながりの輪が広がる。

地域支援課

市民地域 **わくわく事業**

地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に行う取組を支援。



WE LOVE POINT!
地域住民等が連携して地域の課題解決や活性化に取り組む。

企画課

都市と山村 **豊森なりわい塾**

山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出。



WE LOVE POINT!
山村をフィールドとした学びを提供し、関係人口増に寄与。

スポーツ戦略課

芸術スポーツ **スポーツボランティアによる魅力の向上**

ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承し、市民のスポーツボランティアの拡充を図る。



WE LOVE POINT!
スポーツに関心がある市民が交流を図りながら活動することで、スポーツを支え、来場者へのおもてなしや魅力発信につながる。



とよたの世間遺産

とよたのオモシロい
ヒト・モノ・コトで
とよたをもっと面白くする



何気ない暮らしの中に価値を見出す「とよた世間遺産」。
WE LOVE とよたのタネがいっぱい詰まっています。
暮らしの隣にあるとよたの魅力を取り出して、
WE LOVE とよたの理解と共感を広げる活動として紹介します。

※詳しくは認定機関「地域人文化学研究所」Webサイトをご覧ください。https://www.catalyst-r.com/

活動から



コト 橋の下世界音楽祭 01

豊田大橋下で行われる大衆芸術音楽祭。電力はソーラー発電等による自家発電、舞台装置等も手作り、投げ銭形式で行われています。全国からこの祭りを目指して人が集い、交流し、橋の下から強烈な熱気を発信している、とよたを代表するイベントの一つ。



コト 軽トラ行灯パレード 03

きらびやかな照明がない小原の夜の暗さを生かし、小原だからこぞできる灯りの催事です。地域を巻き込んで行われているコトに温かみも感じます。



コト 復活!トヨロック 02

台風で払い戻しなどの大きな損害があったトヨロックが、クラウドファンディングで見事復活し、さらに盛大に豊田を盛り上げるイベントになりました。すでに有名なイベントではあるけれど、とよたにこれだけの質の高い催事があることを誇りに思います。



コト おもちゃ博物館 04

総数1,200点以上の個人コレクションを公開する施設です。2002年開館。コレクションは、自動車のおもちゃを中心に、ブリキのおもちゃ、ホーロー看板等、多種多様な昭和のおもちゃです。自宅の一部にある展示室は見学無料。不定休なので見学の際は事前連絡必要。



モノ 足助のからくり小屋 05

足助の町並みの中通り沿いに、近所の浦野さんが訪れる人を楽しませるためにつくったからくり。素朴で温かみのあるからくりで老若男女の区別なく見た人の笑みを誘っています。季節や干支ごとに展示の入れ替えもされています。

コト ライブカフェ「足助のかじやさん」 06

廣瀬明史さん(故人)が始めたライブカフェ。町並みや人、家族など身近な題材を足助の歌にしていた廣瀬さんの人柄が表れた場となっている。現在は鍛冶屋とライブカフェを息子さんが継ぎ、先代の雰囲気を残しつつ新たな交流の場となっています。

コト 矢作川の「カップ」

矢作川、というよりは矢作川に関する行事に出発するカップ。「着ぐるみ」的ではなく、生身に近いカップですが、主に陸地で活動しています。好物は、俗説のきゅうりよりもお酒。

コト お須原山の縁結び(縁結び岩・結びの電話) 07

御嶽神社のそばにある大きな花崗岩の表面にある小さな穴に、糸や松葉を通して結ぶと縁が結ばれるという「縁結びの岩」と、線はつながっていないけれど心に思う誰かに通じる、お須原山の山頂に設置された公衆電話「結びの電話」の存在が面白いです。

コト 家具と暮らし+カフェ「ヒトキ-人と木-」 08

<ヒトキ-人と木->は、愛知県豊田市・稲武地区にある、家具工房「first-hand」が主宰する家具と暮らし+カフェです。家具工房、カフェの運営、文化の学び場の実施まで含めて、特徴的な活動の場として面白いです。

コト 人生を耕す読み物「耕Life」 09

「人生を耕すためのライフスタイルマガジン」とよたを代表する地域密着情報誌です。発行部数15,000部。48P。その質感と内容は、豊田市への移住を呼び込むと言われるほど。日本タウン誌・フリーペーパー大賞などの受賞歴もあり、とよたの魅力発信とともに、魅力も作っています。

コト 笑いの殿堂・笑劇派 10

愛知県豊田市を拠点に、舞台から記憶に残る笑いと感動を全国に届けているお笑い劇団です。老若男女どなたでも楽しめる新喜劇をはじめ、各種イベント司会、テレビ・ラジオ出演をしています。1998年に創設。平戸橋地区を案内するツアーも催行するなど、地元愛も熱いです。

コト 暮らし方開拓「INABU BASE PROJECT」 11

トヨタケ工業では、平日週3日は事業所で働き、土日は自然豊かな稲武地区でマウンテンバイク等の山岳ガイド業をして、他平日に休むという新しい働き方を提案する「INABU BASE PROJECT」を立ち上げ、新たな暮らし方も開拓する面白い取り組みをしています。

コト 妙楽寺トライアル場 12

妙楽寺の裏にモトクロス用のコースが造成されています。室町堀なども作られていて、面白いところになっています。

コト 温故知新のエンターテイメント・古橋会の活動 13

一般財団法人古橋会が所管する古橋懐古館の周辺では、山里の歴史文化の発信や、養蚕から製糸、伊勢神宮への献糸など、古橋家の歴史を繋ぎながら新たな地域の暮らしを探る活動が展開されています。温故知新のエンターテイメントとして世間を知っていただきたいです。

コト 宮前町のハナノキ 14

旭高原の自生地保護ボランティア活動に参加していた大島健氏が、試行錯誤しながら自宅の庭で発芽させたハナノキを育て、交雑の心配や周辺の環境への負荷がない休耕田に移植して育成しています。

モノ 鐘突き堂・長屋門・蔵

古き良きものコレクター石川氏が移築した建物群。個人の趣味で古き良き建物を残していくということは貴重です。

コト 石川氏クラシックカーコレクション

個人で収集した1928年式のフォード車等、数十台のクラシックカーやバイクを展示・公開しています。



コト とよた五平餅

とよたの郷土食・五平餅の発祥と分布の物語を、地域の食文化として大切にし、販売店だけでなく市民を巻き込んで面白い五平餅の広報活動を進めています。

コト 木桶再生 15

野田味噌商店では、約110年前に使用されていた味噌桶を分解し、約100kg分の小さな桶に再生して味噌作りをしています。今後も再生活動を進め、体験等の味噌桶として活用していきたいとのことです。

コト 足助屋敷の寒茶 16

煎茶とは異なる煮出して飲むお茶。独特の香りと味があり、昔は農作業の際にやかんに入れて持って行ったといわれます。足助屋敷で昔ながらの製法で作られています。

※17番は都合により欠番



コト 末野原駅周辺の茶園風景 18

トヨタ自動車本社のある三河豊田駅から一駅という立地で住宅街化が進む地域ながら、昔ながらの茶園風景が守られています。



モノ 雷石 23

式内社・射穂神社境内にある石英の大きな岩の露頭。木漏れ日の中で雷が光のように見える。一種のパワースポットともされています。



コト 三河の秀峰・猿投山 19

矢作川の河口からもその姿を見られる美しい姿の猿投山。他の山塊から独立して鎮座する姿は畏敬の念を呼び起こします。豊田市を代表する山の景観や、そこにある歴史や文化など、全体を含めたコトとして未来につなげたいです。



コト 「手軽に見える絶景」Mt. 押山 24

押山は標高783mの山で、愛知130山の一つに数えられています。近くまで車で行くことができ、10分ほどで登頂できます。秋から初冬にかけて条件が整えば、壮大な雲海の景色を見ることができま。地元の押山歴史探検隊が整備しています。

コト 水無瀬川緑道の桜並木 20

300本近い桜が植樹されており、桜の季節の景色は壮観です。地元の方々により周辺も整備され、現在も桜の植樹等の整備が続けられています。

コト 巴川穂積橋付近・河川敷の風景 25

地区の人の植樹、管理によって美しく保たれている川岸の風景。周辺には烏帽子岩や金精大明神など地域の名所も所在しています。

コト 豊田スタジアム周辺の大パノラマ 21

豊田スタジアム周辺の壮大な景観。豊田大橋やスタジアムの大きな人工物そのものの景観と、豊田大橋やスタジアムから望む猿投山や矢作川などの自然と、トヨタ自動車の工場群、市街地などが一体となった景観を楽しめます。

コト 勘八峡と三水湖 26

三水湖は、越戸ダムの建設によって、矢作川にできた人造湖。ダムができる前は、岩が露頭する狭小な渓谷「勘八深」で河川交通の難所でもありました。それらの歴史を含め、現在はカヌーの練習などにも利用されている姿も、後世に伝えていきたいです。

モノ 前洞町の楮 22

古くから手すき和紙業がさかに行われてた小原地区でも現存最古かもしれない天然の楮です。木の根元の太さ30cm、枝の長さ4mくらい、枝の広がり全体で5mほど。



モノ クルマの町のキッズカート 27

商業施設T-FACEを中心に設置されているキッズカートは、レクサス等の実際のトヨタ車を模した形となっています。ほかのまちから豊田を訪れた方に「さすが豊田市」と感心してもらい、クルマの町ならではの面白いモノと思います。



コト 小田木品評会

今から100年ほど前、明治44年(1911)から続く小田木集落の伝統行事。地元の人々が作った農作物等の出来栄を、「競り」の形で評価します。売り上げを集落のお祭りの運営費に回すため、「ご祝儀」として高値で競り落とすことが慣例となっています。



モノ 二度見の黄金母子像 28

寿楽荘付近を散歩すると、山側に何か金色に光るものが視界に入ります。不思議に思い探してみると、金色の母子像がありました。地元の方に確認した範囲では、宗教的なものではないようですが、詳細は不明。何か面白いことがありそうなものとして推奨します。



モノ 観音寺山の石清水 30

道路横の岩肌にいきなりしつらえてある扉を開けると、そこには岩窟のような所に湧き出ている清水があります。その外観も面白く、昔から伝わると聞きましたが、この水を大きな柄杓でがぶ飲みすると、異性にモテるようになるという伝承も面白いです。



モノ 寺部八幡宮の奉納絵馬群 29

寺部八幡宮の舞台には、豊田市在住の芸術作家が平成元年から毎年一人ずつ一枚製作した絵馬が32枚かけられています。日本画のほか、油彩、彫刻等、個性ある絵馬群は見ごたえがあります。

コト 隠れ里のパワースポット

人里離れた場所にある生命力を感じるパワースポット。断崖絶壁に神社と不動明王などがまつられてあり、山里暮らしの生活の中で個人の信仰心が形になったところが興味深いです。(信仰対象としては評価しません)

コト 小渡の御祭典

由来は不明だけど、地元の方々がお祭りの際に各組で仮装して踊ることを楽しんでいます。



ヒト 木使いの人 山田政和さん

山田さんは、豊田市産の木材で家具や遊具などを作り、市民に木材の新しい使い方を楽しく愉快に提案しています。ラグビーワールドカップ2019の際には、巨大な木製ラグビーボールを製作したり、依頼されて木製の雲梯などを作ったりと、様々な「木使い」をしています。



ヒト 食劇戦隊啓発レンジャー 若杉理恵さん

劇団カレイドスコープの代表として啓発劇を行い、防犯など市民の方々に分かりやすく伝えている方です。また、地域講師として小学校での読み聞かせや、フッキングクラブ等で子どもたちの情操教育や食育を行っています。



ヒト 狩人&料理人 清水潤子さん

女性ハンターという側面だけでなく、獲った様々な対象を自ら味見し、料理して提供する店を出し、さらに自宅に処理施設を設置して、獣害を避けるために駆除しなければならない命を無駄にしない活動を展開しているところが素晴らしいです。



ヒト 燻りにすと 佐々木雅治さん

豊田が好きすぎて、豊田の食材をなんでも燻製にしてしまう「燻りにすと」。日ごろは美容師として働きながら、伐採された足助の紅葉や小原の四季桜などを使い、市域の食材を燻製にしています。「豊田を面白くしたい」が口癖です。



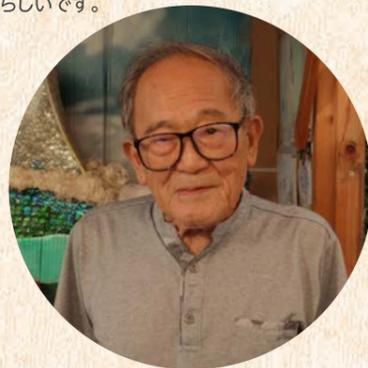
ヒト 最後の足助芸者 後藤久子さん

かつては30名ほどの人数がいたと言われる足助芸者最後のおひとり。現在は香嵐深踊り等の指導を行っています。



ヒト 古き良きものコレクター 石川 昭さん

古き良きものコレクター。道楽と言えば道楽ながら、古くても良いものを残していくという行為を続けています。



ヒト からくり名人 浦野良美さん

足助の町並みにある「からくり小屋」の作者。中通りを通る人たちに喜んでもらうためにからくりを自作しています。



モノ 旧ウルシゼ橋 31

国道257号線沿いの名倉川に架かる、大正7年(1918)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。橋の長さ28m・幅約3m。橋を支えるアーチのカーブはやや扁平で、2本のアーチ同士の幅が、橋の中央部から端部にかけて開く複雑かつ優美な姿を見せています。



モノ 旧枝下用水遺構群

旧枝下用水遺構群は、その歴史的価値とともに「とよたの高千穂峡」ともいえる美しい景色です。また、先人たちの作った枝下用水遺構群を保全しようと、枝下用水資料室が中心となって地元の方々も参加し、清掃活動が行われていることも素晴らしいです。



モノ 灰宝神社の二宮金次郎像 35

身の丈2.2mもあり、国内最大級の二宮金次郎石像と考えられます。地元出身の実業家・前田栄次郎氏の寄贈と推定されます。2本の足と1本の石柱で巨体を支えていて、そのバランスの妙も素晴らしいです。



モノ 農村舞台「寶栄座」 32

市内に数ある農村舞台の中でも、回り舞台を備えた舞台は数少なく、その中でも寶栄座(明治30年建設)の回り舞台(大正11年設置)は、軸受け機構ではなく木製レールに輪を転がす他に例を見ない特異な装置となっています。



モノ 前田公園 34

昭和4年(1929)に越戸村出身の前田栄次郎氏が計画・建設した観光用の公園。矢作川を望む景勝地に、聖観音菩薩像へ続く100段余りの階段を主軸として、先祖感謝の塔や逆さ五重塔、各種記念碑など、珍妙な構造物や、コンクリート製の三十三観音がある。



モノ 道慈山観音寺の千頭絵馬 36

千頭の馬が描かれた大きな絵馬。大正時代に奉納されています。



モノ 人造石工法の水制(大出し) 33

扶桑の水辺公園近くにある水制工。人造石工法(たたき技法の応用)で造られているので、川下にある百々貯木場と同時代の大正時代に造られたと考えられます。「とよたの昔話」の「川ぼうず」の場所もこのあたりと言われているので、昔は川の難所だったと思われる。



コト 街道を往来する幻の親王・伊良親王伝説

伊良親王(1364-1424)は、南北朝時代に活躍した南朝方の皇族で、旧伊奈街道(中馬街道)沿いの各地に伝説を残しています。伝説的な話が実際に地名や品物となって形になるところが面白く、伊良親王伝説を軸とした地域のつながりを考えるうえで興味深いところです。



モノ 香嵐舎観光部の街路灯跡

表面に「香嵐舎観光部」の文字が見える街路灯の基礎部分。戦前には建てられていたと考えられ、足助が戦前から「観光」に対して意識を持っていたことを物語っている貴重な存在です。



モノ 家下川の人造石樋門(葎池樋門) 37

明治用水の用水路が家下川を跨ぐためにつくられたトンネル。明治33年に造られており、人造石工法によるトンネルとしては現存最大級の規模。自然河川の上を人工用水が通り、さらにその上を東名高速道路が通るといふ、水の立体交差が見られます。

モノ 穂積橋三代の親柱 38

則定町を流れる巴川に架かる穂積橋は、明治31年竣工の初代から昭和62年竣工の現在の3代目までの親柱が、ほぼ同じ場所で見ることができます。新旧三代にわたる橋梁の歴史を、現存する親柱で観察できるという稀有にして珍妙な事態です。

モノ 日本最古のコンクリート製電信柱で構成された三角錐 39

本多静雄氏が通信省に勤めていた際にかかわった日本最古のRC製電信柱を移築し、自宅の庭に造った記念碑的な三角錐。中央にはコレクションの石仏が安置されています。茶室もしつらえた庭の中にコンクリート柱を組み合わせた構造物を設置する妙がオモシロいです。



モノ 旧稲武大橋 40

大正15年(1926)竣工の鉄骨アーチ橋。細い部材を組み合わせて角張ったアーチが特徴的。

モノ 旧郡界橋 41

大正6年(1917)竣工。鉄筋コンクリートアーチ橋としては東海地方最古と考えられる。橋の長さ約24m・幅4m。アーチから路盤までの井桁が和風の雰囲気を出しています。

コト 豊田市南部に残る「鎌倉街道」

豊田市南部の駒場町から駒新町、中田町にかけての地域には、京都一鎌倉間を結んだ鎌倉時代の街道が通っていたとの伝承があり、鎌倉街道と呼ばれています。地元では、この街道筋を「(旧高岡町)町道1号鎌倉線」と称し、長年親しまれています。

コト 船渡薬師堂の金精大明神 42

鈴木正三ゆかりの舟渡(栃ノ実)薬師堂の脇にまつられている金精大明神は、もともと巴川に橋がない時代、渡し舟の鞆綱を架けるために使われていたようです。後年、その形に感心した地元の人たちが、今の場所に安置したという面白い来歴を持っています。(信仰対象ではなく、船渡の名残りを示すものとして。)

モノ 旧真弓橋 43

大正8年(1919)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。長さ20m・幅1.7m。

モノ 百善のレンガ塀

百々町の今井家の煉瓦塀。貯木場が造られた大正時代のものかも。今見ても日本家屋とも似合っていておしゃれです。

モノ 前橋 44

大正8年(1919)竣工の鉄筋コンクリートアーチ橋。長さ16m・幅3.5m。深い弧を描くアーチに対して全体に小さな姿が印象的な橋。

モノ 初代清市の法被

野田味噌商店初代が着用していた法被。代々伝えて、創業者の心を大事にしています。

モノ 赤いキリン 45

昭和20年代から蔵内で使用されていたガソリン給油機。手動ハンドルによるポンプくみ上げ式で、表示はガロン。進駐車の払い下げ品と考えられ、旧海軍岡崎航空隊第三飛行場があった場所としての物語も伝えています。現在は夜間照明として活用されています。

モノ 両国橋 46

昭和17年竣工の両国橋は、矢作川に架かる橋の中央で、左岸が桁橋・右岸がトラス橋と、同じ橋でありながら構造が異なります。かつて左岸側の島崎町が岐阜県に属していた両国橋の名も、美濃と三河の二つの国に由来しています。

モノ 富永町のおびんずるさん

富永町が古くからおまつりしている仏像。かつては金の胎内仏があったとも伝えられている。一時小馬寺に預けていたが、小馬寺が荒れてきたころから再び集落にお迎えし、修理等も施して集落全体で大事にしている。(信仰対象ではなく、集落の歴史を受け継ぐものとして。)

モノ 馬車組合が造立した馬頭観音石像

大正～昭和の初めにかけて、市内各地にあった「馬車組合」が建立した馬頭観音石造。いずれも一般的な馬頭観音像よりも大きな像で、各地の馬車組合の名称が刻まれています。記念碑的に同時期に建立された同様の石像が市内各地に分布しているのが面白いです。(記念碑的なものとして)

モノ 金谷下開渠 47

金谷下開渠は、豊田市に鉄道が開通した大正9年(1920)に建設された鉄道用の橋。レンガ造りの橋脚に鋼の桁を渡す構造で、ほぼ建設当時の姿をとどめています。この橋が金谷城跡の堀跡をまたいでいる立地を含め、地域性を示す貴重な遺産です。

モノ 廣梅橋旧橋の石造物群 48

昭和6年9月に改築された廣梅橋の親柱など8本が、当時の幅員約4mを再現(現在は13m)し、保存されています。不要になった石造物を遺した地元の熱意が素晴らしいです。

モノ 宇都宮三郎墓所 49

わが国初の化学技術者・宇都宮三郎の墓所。化学装置付きの棺桶で葬られていたり、墓所のある石灯籠が半田亀崎の醸造家たちの寄進であったり、近代日本の化学技術黎明期をけん引した人物の最期と、その物語をとよたにつなぐ場所となっていてオモシロいです。

モノ 烏帽子岩 50

若き日の徳川家康が、初陣となる寺部城攻めの際にこの岩の上で指揮をしたとの伝承もある「烏帽子」の形をした岩。形も面白いけれど、若い時の家康がこの岩から軍勢を指揮していたと思ふ浮かべるのも、この地域の歴史を考えるうえで楽しいと思います。

モノ 津島神社の繭型灯籠 51

地元の養蚕組合が奉納した「繭」の形をした珍しい灯籠。

モノ 熊野が松伝承地の碑 52

昔話の伝承地の碑がコンビニの駐車場の中にポツンと立っています。衣の里の伝承として大切にされていることがわかりますし、擬木の碑がコンビニの駐車場にあることも面白いと思います。

モノ 木下信氏の銅像 53

「今二十よりも先四十」という至言とともに産業文化センターの敷地内に立っている木下信氏の銅像は、かつてここが加茂蚕糸の工場であった名残でもあり、トヨタ以前のよたの発展に尽力した個人の顕彰として、忘れてはならないと思います。



モノ 小馬寺の宝篋印塔 54

生駒山の山頂付近の小馬寺境内にある宝篋印塔。後醍醐天皇の皇子・宗良親王の墓とも伝えられる苔むした宝篋印塔は、南朝方の宗良親王及び街道沿いに伝説を残す伊良親王の伝説等、昔日の姿を偲ばせます。

モノ 幸福稲荷 55

幸福寺境内にあるため、「幸福」の字を冠したお稲荷さん。信仰対象としてではなく、名称として面白いです。

モノ 寿々家の鈴 56

かつて足助の名料亭として名を馳せた「寿々家」の玄関横の軒先にかけている鈴。三つ葉葵の紋があり、いずれかの神社の鈴と推定されます。かつての屋号「鈴屋」に関連しているのか、現在はその意味や来歴が不明となっているところが面白いところです。

「世界」ではないけれど「世間」遺産

「とよた世間遺産」は、「とよた」という地理的・文化的な範囲の設定と、そこにあるモノやコト、そしてヒトに対し、「面白さ」という視点から後世に受け継いでいきたい「遺産」の価値を見出す活動です。そして、この活動を通じて、オモシロい存在からとよたをより面白くすることを目指します。



「とよた世間遺産」の定義として、下記の項目を掲げます。

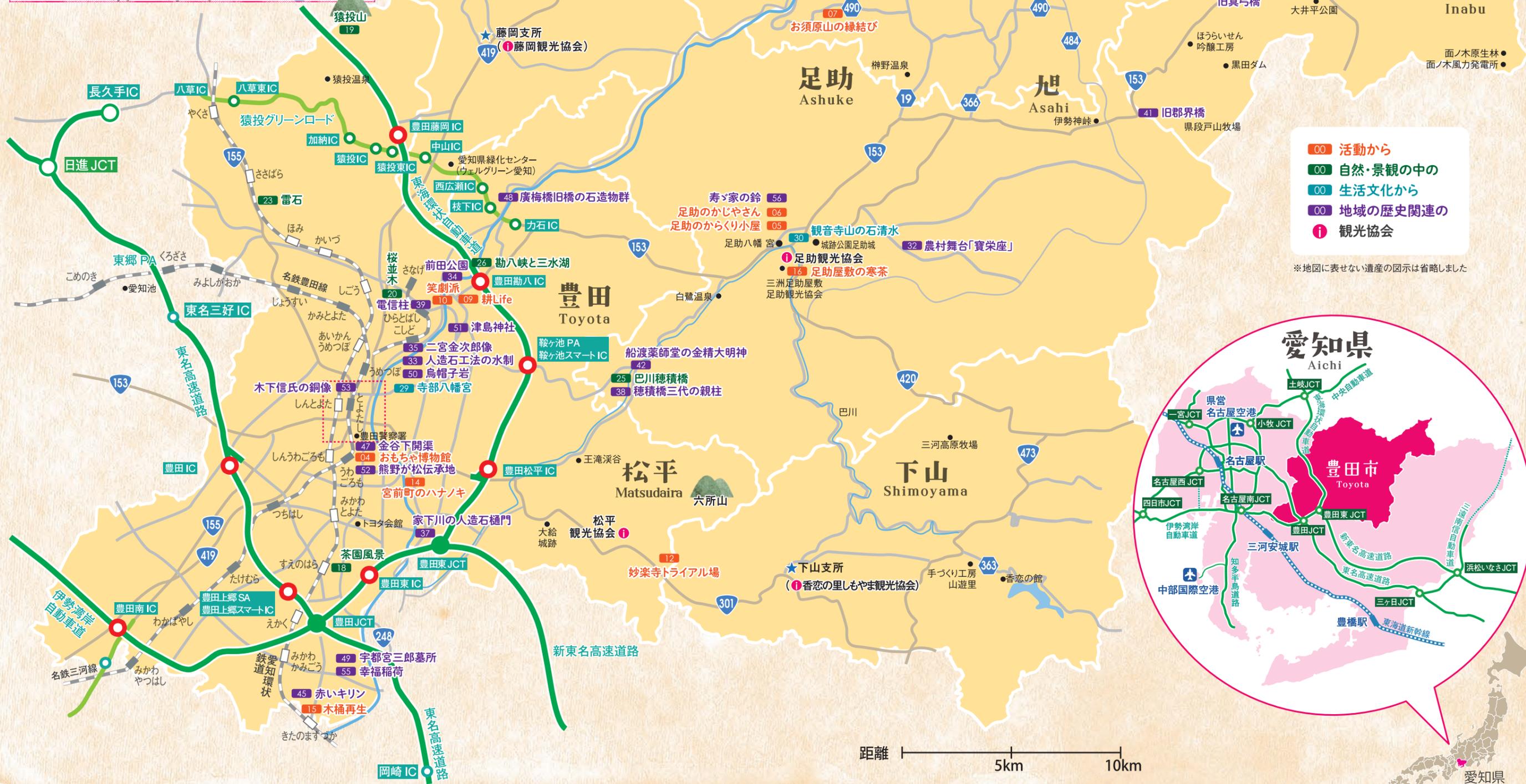
- ①豊田市域に所在するヒト・モノ・コトであること
- ②そのヒト・モノ・コトにまつわる固有の物語が確認でき、かつ公表できること
- ③文化財指定等により、公的にその価値が認められていないこと
- ④未来に語り継ぎたいと思わせる「面白い」という価値を持つこと
- ⑤個人の思想等を表現・主張するための「作品」ではないこと
- ⑥他者の共存を否定する等の反社会的なものではないこと

公募により挙げられた候補から、地域人文化学研究所が「ヒト」「モノ」「コト」の種別で認定しています。

豊田市街地拡大マップ



遺世産間 MAP



- 00 活動から
- 00 自然・景観の中の
- 00 生活文化から
- 00 地域の歴史関連の
- ① 観光協会

※地図に表せない遺産の図示は省略しました

